

# バルバドス（2025年度）

- [国・地域別情報トップページへ](#)
- [各国・地域情勢](#)
- [在バルバドス日本国大使館](#)

1. 2024年度日本語教育機関調査結果
2. 日本語教育の実施状況
3. 教育制度と外国語教育
4. 学習環境
5. 教師
6. 教師会
7. 日本語教師派遣情報
8. シラバス・ガイドライン
9. 評価・試験
10. 日本語教育略史

## 1.2024年度日本語教育機関調査結果

初等教育			中等教育			高等教育			学校教育以外			全体の合計		
機関数	教師数	学習者数	機関数	教師数	学習者数	機関数	教師数	学習者数	機関数	教師数	学習者数	機関数	教師数	学習者数
0	0	0	1	1	16	1	2	16	0	0	0	2	3	32

（注）2024年度日本語教育機関調査は、2024年9月～12月に国際交流基金（JF）が実施した調査です。また、調査対象となった機関の中から、回答のあった機関の結果を取りまとめたものです。そのため、当ページの文中の数値とは異なる場合があります。

[「海外日本語教育機関調査」のページへ](#)

## 2.日本語教育の実施状況

### 全体的状況

#### 沿革

国内の教育制度は、英国の教育システムに基づいており、教育水準は比較的高い。バルバドス政府は、基礎教育から高等教育まで教育による人材育成力を入れている。

また、技術・職業訓練や専門教育の充実に注力している他、特別支援教育や成人教育なども重視されている。

バルバドスにもキャンパスがある西インド大学は、2019年の英国 Times Higher Education World University Ranking で、世界のトップ校5%とされる。

#### 背景

福嶋在バルバドス日本国大使が2022年にモトリー首相を表敬した際、同首相より2030年までに当国国際化の一環として現地カレッジにて日本語教育を実施したい発言があった。この発言を受け、当該カレッジと大使の間で面談を持ち、同校から日本語教育実施への強い希望を聞き取っている。当地モトリー首相の「全国民バイリンガル化2030」の方針を受け、2024年にバルバドス・コミュニティ・カレッジ（BCC）、2025年に西インド大

学 (UWI) ケーブヒル校にて日本語講座が開講され、2026 年 1 月時点、初級の日本語クラスが提供されている。BCC は元 JET 参加者が講師を務め、UWI ケーブヒル校では日本人 (JICA 専門家随伴者) が講師を務めているが、両校共に、資格を有する日本語教師を配備することにより、教育の質の保証や学習成果の最大化、現地教育機関との信頼構築、さらには長期的な日本語教育基盤の形成が可能となることから、JF を通じた教師派遣について積極的に検討していきたい。

## 特徴

当地の日本語クラスを訪問したところ、日本語教育に対する強い関心がうかがわれた。前述のとおり、初級課程を修了した学習者が次のレベルへ円滑に進級できるよう、有資格の講師の派遣、または当地講師に対する指導・支援の必要性が一層高まっている。

## 最新動向

在バルバドス日本国大使館でも日本文化紹介イベント等を行い、いずれも盛況となっている。

# 3.教育制度と外国語教育

## 教育制度

### 教育制度

教育・技術/職業訓練省の管轄下にある公立の初等教育学校は 68 校、中等教育学校 21 校。公立初等教育学校の学費は無料。公立中等学校の教科書代は政府補助があり、少額の授業料のみ。私立学校は初等教育校 27 校、中等教育校 27 校。

義務教育は 11 年間。初等教育が 4 歳から 11 歳まで、中等教育は 11 歳から 16 歳までを対象としている。英国式教育システムを採用しており、初等教育では毎年度末に進級試験が実施され、基準に満たない者は留年する。

公立中等教育学校へは入学試験が課され、16 歳になるとカリブ中等教育入学資格試験を受験し、合格した者は中等教育修了が証明される。

中等教育課程卒業後は、サミュエル・ジャクソン・プレスコッド工科学校 (職業訓練) への進学、または BCC で準学士号を取得するか、少数の中等学校が提供している 2 年間の追加中等教育後の 18 歳頃にカリブ上級技能試験を受験することができる。

準学士号保持者またはカリブ上級技能試験合格者は、高等教育機関である UWI ケーブビル校などへ進学することが可能。UWI では学士号、修士号、博士号の取得が可能。

## 教育行政

教育・技術/職業訓練省

## 言語事情

公用語は英語。当国ミア・モトリー首相は、語学教育による国民の 2 カ国以上の外国語取得の 2030 年達成を目標としており、特に日本語教育について、BCC への日本語教室の設置を希望する旨の発言があるなど、日本の先進技術力への評価から当国の日本語教育への関心は高い。

## 外国語教育

一部の教育機関ではフランス語とスペイン語を第二外国語としている。高等教育機関では、他にイタリア語、ドイツ語、ポルトガル語、中国語（BCC 及び UWI）の学習が可能。

※UWI 孔子学院は 2015 年設立以来、のべ 7,000 名の中国語学習者を輩出。加えて、地元校の孔子学院設立を支援。

## 4.学習環境

2024 年に BCC、2025 年に UWI ケーブヒル校にて日本語講座が開講され、2026 年 1 月時点、初級の日本語クラスが提供されている。

## 5.教師

### 資格要件

情報収集中。

### 日本語教師養成機関（プログラム）

日本語教師養成を行っている機関、プログラムは確認されていない。

## 6.教師会

### 日本語教育関係のネットワークの状況

日本語教育関係のネットワークは確認されていない。

### 最新動向

特になし。

## 7.日本語教師派遣情報

### 国際交流基金からの派遣

### 国際協力機構（JICA）からの派遣

JF、JICA からの派遣は行われていない。

### その他からの派遣

（情報なし）

## 8.シラバス・ガイドライン

統一シラバス、ガイドライン、カリキュラムは確認されていない。

## 9.評価・試験

共通の評価基準や試験は確認されていない。

## 10.日本語教育略史

1968年設立のバルバドス・コミュニティ・カレッジ（BCC）語学センターは、1995年頃に日本語教育を導入したが日本語講師の帰国に伴い閉講となった。同センターは持続可能な方法で日本語教育・訓練を行いたいと考えている。2024年にBCC、2025年にUWI ケーブヒル校にて日本語講座が開講され、2026年1月時点、初級の日本語クラスが提供されている。

### 情報更新についてのお願い

この国の日本語教育に関する情報がありましたらお知らせくださるようお願いいたします。  
なお、内容の確認のため、こちらからご連絡する場合があります。

**Eメール：kunibetsu@jpf.go.jp**

（メールを送る際は、全角@マークを半角@マークに変更してください）